

平成30年度第2回学校教育審議会における意見の整理

平成30年度第2回学校教育審議会における意見・感想等を以下のとおり整理しました。なお、整理にあたって、文章の分割や簡略化、同種の意見の統合等を行っています。

分類	No.	意見の内容
施設整備の考え方に 関する意見	1	構造躯体が健全であっても、法的・技術的に既存不適格を解消することができず、改築が必要となる事例もあるため、これらへの対応も含めた検討が必要
	2	バリアフリー対応は、ポイントのひとつになるものであり、ニュアンスとして入れておくべき。
	3	老朽化対策を行っていくことも重要だが、「3 多様なニーズへの対応」を、どこまで積極的に捉えていくのかということも検討が必要
	4	「学校施設の目指すべき姿」においては、「安全性の確保」と他の柱立てが並列に記載されているが、そこが「施設整備の考え方」に反映されているかどうかというところが見えにくい。
	5	「安全性の確保」について、「長寿命化」等に重点が置かれ、他のものが見えにくくなっているため、「子どもを第一にした安全性」という部分がもう少し出てくるとよい。
	6	「人命等に関わる支障への対応は優先して実施」という表現について、記載の優先順位を上げることも考えられる。
	7	災害時における地域の避難所としての役割も踏まえると、地域に向けた視点も表現されているほうが、より安心感を得られる。
	8	改修前後の学校をそれぞれ視察したが、施設の状況の違いに驚かされた。悪いところはこまめに補修していかないと、長寿命化にもつながっていかない。安全性確保に向けた対応を早急に進めるべき。
	9	基本的に、提示された案の枠組みでよい。ただし、エアコンなどについて、柱立ての1～3のどこに位置づけるのかということを検討すべき。
	10	「基本的な整備水準」については、整備項目の有無だけでなく、質と量の観点も踏まえたほうがよい。
エアコン設置に 関する意見	11	気温とWBGTは随分違い、例えば気温が26℃でもWBGTの観点では問題となることもある。気温ではなく、WBGTを基準として用いたほうがよいのではないか。
	12	昨今の酷暑の状況等をふまえると、エアコンの件は、子どもたちの命の危険に関わるものでもあり、早急に対応していかなければならない問題である。
	13	近隣でも普通教室にエアコンを設置済の自治体があり、千葉市も最大限努力する必要がある。
	14	エアコンは全教室へ設置するというのが、整備水準として必要になってきているのではないか。
	15	普通教室へのエアコン設置を、「基本的な整備水準」として位置づけることを検討すべき。
	16	空調効率を高めるためには、断熱性とのバランスなども考慮する必要があり、コスト面も踏まえながら、長期的なビジョンにたって検討する必要がある。
	17	エアコンを設置する際には、個々の学校の状況も見つつ、戦略的に計画をたてていくべき。

分類	No.	意見の内容
エアコン設置に関する意見	18	1日も早くエアコンが整備されることが審議会の総意であり、答申やエアコンに関する委託調査の結果を待たずに、早急に対応してほしい。
	19	コスト抑制等の観点からも、エアコンを設置する際の事業手法の検討は重要である。
施設整備・教育全般に関する意見	20	「個人情報の管理」という観点からも「安全性」を考える必要がある。教師1人に1台ずつコンピュータが配置されておらず、事務作業も煩雑な中では、情報漏えい等も起こりうるのではないか。
	21	「建物の安全性」だけでなく、そこで生活している「子供たちや教職員の安全性」も極めて重要
	22	昨今、雨の問題も非常に話題になっており、浸水の恐れ等についても、対応を議論していく必要がある。
	23	千葉市においても、今後大きな地震が発生する可能性が高い中では、建物の耐震性をしっかり確保していかなければならない。
	24	教育予算について、人口ひとりあたりの金額を算出すると、千葉市は最低であり、見方を変えていかなければならない。
	25	根本の問題として、千葉市は教育に係る予算や子どもに対する予算が少ないと思う。